

伊賀市上野西部 公民館だより



第93号

平成23年1月14日

編集発行:上野西部公民館

所在地:伊賀市上野福居町

TEL・fax 0595-23-9779

上野西部地区の人口 世帯数 1,565 人口 3,584人(内男 1,713・女 1,871) 22.11.30 現在



あけましておめでとうございます

新春を健やかにお迎えのこととお喜び申し上げます。

去年は 各町自治会長や皆様のご協力のお陰をもちまして 諸行事活動が無事成し遂げることが出来ました。上野西部地区自治会活動への支援・協力有難うございました。

さて、本年は現在伊賀市が進めております“自治組織のあり方の見直し”に沿って 4月より地区委員制度が廃止され市との行政窓口が原則住民自治協議会へ一本化されるのに伴い 当連絡協議会は懇親会となり 事業部門は上野西部地区住民自治協議会の自治会特別部会へ移行する予定であります。

各町自治会活動は従来と変わりありませんが 自治会活動への参加理解が自治協活動へ繋がり 地域の発展となります 皆様のご協力が益々重要となります 今年もなお一層のご理解ご協力を賜いますようお願い申し上げます。

皆様のご健勝とご多幸を祈念して 新年のごあいさつといたします。

上野西部地区自治会連絡協議会 会長 八尾 光祐

初 聚



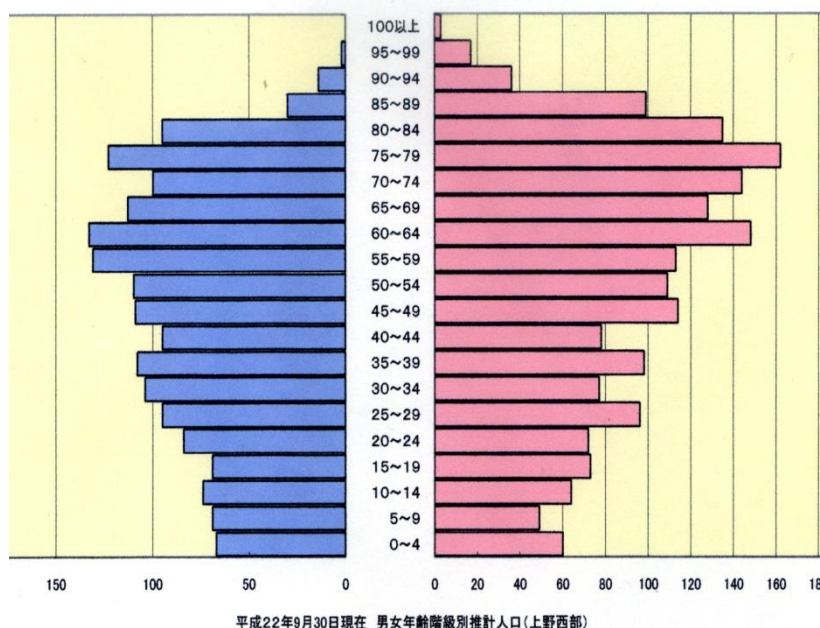
伊賀市消防出初式

1月9日 大山田せせらぎ運動公園グラウンドにて伊賀市消防出初式が行われました。会場で右記の団員の皆さんが表彰されました。

今年も 上野西部の守り
よろしくお願いします。

三重県消防協会長	精勤章	西澤	高広
	表彰徽章	宮本	幸星
		西澤	真
三重県伊賀支会長	表彰徽章	清水	理
	特別表彰徽章	東出	洋一
伊賀市長	功績章	東出	洋一
伊賀市消防団長	表彰徽章	清水	理

上野西部の人口



平成22年9月30日現在 男女年齢階級別推計人口(上野西部)

(単位:人)

	男	女	総数
0 ~ 4	67	60	127
5 ~ 9	69	49	118
10 ~ 14	74	64	138
15 ~ 19	69	73	142
20 ~ 24	84	72	156
25 ~ 29	95	96	191
30 ~ 34	104	77	181
35 ~ 39	108	98	206
40 ~ 44	95	78	173
45 ~ 49	109	114	223
50 ~ 54	110	109	219
55 ~ 59	131	113	244
60 ~ 64	133	148	281
65 ~ 69	113	128	241
70 ~ 74	100	144	244
75 ~ 79	123	162	285
80 ~ 84	95	135	230
85 ~ 89	30	99	129
90 ~ 94	14	36	50
95 ~ 99	2	17	19
100以上	0	3	3
不詳	0	0	0
総数	1,725	1,875	3,600

民生委員・児童委員の紹介

22年12月1日から3年間活動していただく委員を紹介します。

民生委員・児童委員

森岡 美代子	担当地区	上野西大手町
谷 圭子		上野向島町・上野幸坂町
宇野 幸子		上野東丸之内
藤本 正		上野東丸之内
北岡 憲次		上野西丸之内
渡邊 由紀子		上野西丸之内
神戸 安男		上野東町・上野中町・上野西町・上野小玉町
八尾 敦子		上野魚町・上野相生町・上野紺屋町・上野三之西町
辻村 忠男		上野福居町・上野徳居町
※選任中		上野新町・上野鍛冶町・上野片原町

主任児童委員

堤 順子 森岡 佑子

退任 永い間 有難うございました。

中山 隆義、栗野 和枝、相楽 和代、廣岡 常義



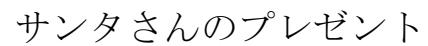
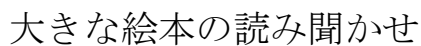
(順不同敬称略)

民生・児童委員は、皆さんの最も身近な相談員です。地域住民の皆さんが生活上の悩みを抱えているときや、誰かに相談したいとき、あるいは福祉などの制度を利用したい時など、適切なアドバイスをし、問題解決に努めて、支援していきます。

☆ 自助 …… 自分の身は自分で守る

☆ 共助 …… 自分たちの住んでいる地域は自分たちで守る

22年12月16日 ひとあし早く 子育てサークル “つくしんぼ” “ぴよぴよ” のクリスマス会がおこなわれました。



忍者文字(あけましておめでとうございます) 上野西部地区住民自治協議会

上野西部地区住民自治協議会健康福祉スポーツ部会 行事予定

グラウンドゴルフ 2月5日
スケート教室 2月19日
ボウリング大会 2月27日
健康教室 3月中旬

お願い

開催の日は予定です。
別に配布しますチラシ
(申込書)にて内容確認
の上多数参加願います。

連句 歳旦三つ物 平成二十三年正月

伊賀連句会幸吟舎

貫禄は重ねし齡おらが春

山村としお

児等には勝てぬカルタ双六

恒岡弘二

一瞬は夢の世界へ花吹雪

奥田雅生

神鶏の声高らかに伊勢の春

奥田雅生

真珠の一つを添ふる初髪

片山妙子

幼な子の立つ頃桃の咲くならむ

としお

優しさは千支の兎や初の句座

弘二

車と言われ年酒差し置く

雅生

梅一輪目を引き寄せて句い立つ

妙子

鏡餅自作芭蕉の像そえて

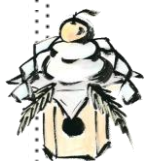
妙子

奔放無と年始占ひ

としお

幽玄の一筆書の花の山

弘二



歳旦三つ物

三つ物(みつもの)は連句の一形式である。奥の細道で芭蕉は二句の連句を二巻、三つ物五巻、四句を五巻、六句を一巻、歌仙(十八句)を十八巻、四十四句(よよし)を一巻、五十句を一巻その他十五巻作っている。

正月に巻く三つ物は特に歳旦三つ物と称し第一句(発句)はめでたさを、第二句(脇句)は正月のたのしさを、第三句は春の花で飾る句を詠む。

伊賀市上野西大手町

文責 伊賀連句会

会長 山村 俊夫



謹賀新年

本年もどうぞよろしく

お願い致します

上野西部地区市民センター

上野西部公民館 職員一同

